

# 1 主な年齢の平均余命

平成 29 年簡易生命表によると、男の平均寿命は 81.09 年、女の平均寿命は 87.26 年となり前年と比較して男は 0.11 年、女は 0.13 年上回っている。平均寿命の男女差は、6.17 年で前年と同程度となっている。また、主な年齢の平均余命をみると、男女とも 80 歳まで前年を上回っているが、85 歳以上については前年を下回っている。（表 1、表 2）

平均寿命の前年との差を死因別に分解すると、男女とも悪性新生物、心疾患（高血圧性を除く、以下同じ）、脳血管疾患などの死亡率の変化が平均寿命を延ばす方向に働いている（図 1）。

表 1 主な年齢の平均余命

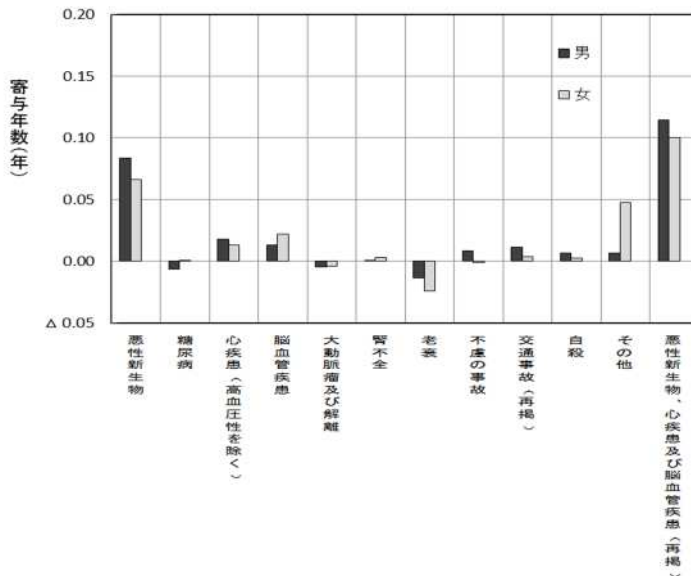
年齢	男			女		
	平成29年	平成28年	前年との差	平成29年	平成28年	前年との差
0歳	81.09	80.98	0.11	87.26	87.14	0.13
5	76.30	76.20	0.11	82.48	82.37	0.11
10	71.33	71.23	0.11	77.50	77.39	0.11
15	66.37	66.26	0.11	72.52	72.42	0.11
20	61.45	61.34	0.11	67.57	67.46	0.11
25	56.59	56.49	0.11	62.63	62.53	0.10
30	51.73	51.63	0.10	57.70	57.61	0.10
35	46.88	46.78	0.10	52.79	52.69	0.10
40	42.05	41.96	0.09	47.90	47.82	0.09
45	37.28	37.20	0.09	43.06	42.98	0.08
50	32.61	32.54	0.07	38.29	38.21	0.08
55	28.08	28.02	0.06	33.59	33.53	0.07
60	23.72	23.67	0.04	28.97	28.91	0.06
65	19.57	19.55	0.02	24.43	24.38	0.05
70	15.73	15.72	0.01	20.03	19.98	0.04
75	12.18	12.14	0.03	15.79	15.76	0.03
80	8.95	8.92	0.03	11.84	11.82	0.02
85	6.26	6.27	△ 0.01	8.39	8.39	△ 0.00
90	4.25	4.28	△ 0.03	5.61	5.62	△ 0.00

表 2 平均寿命の年次推移

和暦	男	女	男女差
昭和22年	50.06	53.96	3.90
25-27	59.57	62.97	3.40
30	63.60	67.75	4.15
35	65.32	70.19	4.87
40	67.74	72.92	5.18
45	69.31	74.66	5.35
50	71.73	76.89	5.16
55	73.35	78.76	5.41
60	74.78	80.48	5.70
平成2	75.92	81.90	5.98
7	76.38	82.85	6.47
12	77.72	84.60	6.88
17	78.56	85.52	6.96
22	79.55	86.30	6.75
27	80.75	86.99	6.24
28	80.98	87.14	6.16
29	81.09	87.26	6.17

注:1)平成 27 年以前は完全生命表による。  
2)昭和 45 年以前は、沖縄県を除く値である。

図 1 平均寿命の前年との差に対する死因別寄与年数（平成 29 年）



死因	男	女
計(前年との差)	0.11	0.13
悪性新生物	0.08	0.07
糖尿病	△ 0.01	0.00
心疾患(高血圧性を除く)	0.02	0.01
脳血管疾患	0.01	0.02
大動脈瘤及び解離	△ 0.00	△ 0.00
腎不全	0.00	0.00
老衰	△ 0.01	△ 0.02
不慮の事故	0.01	△ 0.00
交通事故(再掲)	0.01	0.00
自殺	0.01	0.00
その他	0.01	0.05
悪性新生物、心疾患及び脳血管疾患(再掲)	0.11	0.10

注:1)交通事故は、不慮の事故の再掲である。  
2)平成 29 年より死因統計に使用する分類を変更したことに伴い、死因を選択する統計上のルールも変更され、死因別死亡数の一部には数値の大幅な変化がみられるところがあるため、これらの影響が比較的小さいものについて表章している。